



## 今年度も小中一貫教育を推進しています

～小中一貫教育実践校としての9ヶ月間の取組を振り返って～

校長 中山 徹

今年度も、豊玉第二小学校、豊玉東小学校、そして本校の3校で施設分離型の小中一貫教育を推進しています。

取組を通して、小学生・中学生の「学習意欲の向上」「自己有用感の向上」「(安定した学校生活の中での)挑戦する心の醸成」を図っていくことが大きなねらいです。

その様子は、昨年同様、学校だよりや学校ホームページで保護者・地域の皆様に適宜お知らせしておりますが、あらためて今年度のここまでの取組についてお伝えしていきたいと思えます。



登校風景

### 【乗り入れ授業】

連携教室等を活用して行う小学生の「乗り入れ授業」は、今年度、これまで合計12日間実施しました。平成26年度に小中合同で作成した『小中一貫プログラム指導案集』にある学習指導案を必要に応じて修正し、国語・数学(算数)・社会・理科・英語・音楽・家庭・保健体育・食育の授業を、本校教員が小学校教員と連携しながら実施しました。

今年度も国語は小中交流授業を行いました。

小・中学校の児童・生徒で4～6人のグループを作り、授業の中で意見交流を進めながらそれぞれが自分の考えを深めていく授業です。小学校6年生と中学校2年生は、教科書教材を活用して「平和」等をテーマとする意見交換に取り組みました。また、小学校5年生と中学校3年生は、「俳句」を題材に意見交換を行いました。

この授業を実施する中で感じたことは、中学生の側に、様々な「自覚」や「気づき」があり、学習意欲や自己有用感を高めることができたということです。

授業に参加した本校2、3年生の感想をいくつか紹介します(一部要約しました)。



国語の小中交流授業

○「小学生の意見はとてもしっかりしていて、びっくりしました。意見を交流して、私の意見が変わった部分があり、たくさんの刺激をもらって、もっと頑張ろうという気持ちにもなりました。」(2年)

○「小学生は、しっかりと自分の気持ちを伝えようとしていて、とても感心しました。僕の意見は、難しくてよくわからない、と言われました。もう少し伝わりやすくしようと思いました。」(2年)

○「(小学生の)発想がとてもおもしろかったです。『平和』というテーマからリサイクルへつながったりと、私が思いもよらなかった意見を言っていて、驚きました。年の離れた人と話するのはおもしろいな、と改めて思いました。」(2年)

○「小学生が作った俳句を読む機会はなかなかないので、今回はとても楽しかった。司会としてはあまりよくできていなかった気がするが、小学生もこの機会を楽しんでくれていたらうれしい。小学生もかなり素敵な俳句を作っているなと思った。」(3年)

○「みんな積極的で話し合いがスムーズにすすみました。自分が教える側になることは少ないので、よい勉強になりました。」(3年)

○「小学生との授業は昨年以來してなかったので、少し緊張しましたが、うまくコミュニケーションをとることができたので良かったです。」(3年)

○「小学生らしい生き生きとした俳句に、心が励まされました。素直な感情をそのまま俳句に、また感想にしていました。久々に小学生と交流して、とても新鮮な気持ちになれました。昔の自分を思い出せたような気がして、良かったです。」(3年)

このような感想から、中学生にとっても得るものが多くあったことが分かります。昨年度も強く感じたことですが、今年度も話し合い活動の時に、小学生が理解しやすいように配慮しながら、また言葉を選びながら、丁寧に司会進行を務めていた本校生徒の姿、柔和な表情がとても印象深かったです。

## 【交流活動】

次に交流活動ですが、今年度は10月の文化発表会前日、豊玉第二小学校、豊玉東小学校の6年生を招いて、「小中合唱交流」に取り組みました。中学生は、翌日の合唱コンクールで歌う課題曲・自由曲を全クラスが歌い、また6年生は2校一緒に「ビリーブ」を合唱しました。

6年生の感想を紹介します。(一部要約しました)。

○「素晴らしい歌声をありがとうございました。ハーモニーがきれいで、気持ちが伝わってきました。来年、私も文化発表会に参加して、思いっきり歌います。」

○「ぼくは3Bの自由曲がとても印象にのこりました。男子と女子で高低がとてもきれいに重なっていて、サビではみんなが大きな声で歌っていて、とてもよかったですと思いました。」

○「中学生のみなさんの歌をきいて、課題曲で同じ歌を歌っていて、こんなにちがいがあんだと思いました。私も来年は中学生みたいに歌いたいです。」

○「私は交流会で、1, 2, 3年全員に、すごいなと思いました。なぜかという、それぞれクラスによって良さが出たり、クラス全員で協力して1つのものになっていると感じたからです。来年は私たちがやるので、お手本にして頑張りたいです。」



6年生合唱「ビリーブ」



中学生の合唱披露

行事等では、運動会での小中連携競技、留学生との交流会、部活動体験などで、児童・生徒との交流の機会を設けました。

また、今年度は小学生同士の交流活動にも積極的に取り組みました。2校のレクリエーション交流だけでなく、合同の道徳授業も実施しました。

## 【教員の取組】

教職員の取組としては、これまでに合計6回、3校合同で小中一貫教育推進委員会を開き、3校の校長・副校長・教務主任・小中連携クリエイターで、取組の進め方や留意点などについて協議を重ねてきています。

また、3校の教員全員が参加する小中合同研修会をこれまで3回実施しました。（4回目は来年2月に実施予定です。）小中一貫教育実践校としての活動に関して、意見交換を進め、相互理解を深めてきています。

さらに、教科・領域の各部会を設け、3校の教員で学習指導案、指導方法、教材等の検討も進めました。このことは、本校教員の指導力向上にも十分役立っています。



部活動体験（空手部）



小中交流レクリエーション

## 【児童・生徒にとって・・・】

小学生は「小中一貫教育プログラム」による授業・活動等を通して中学生と交流したり、施設を利用したり、また教職員とも関わったりすることで、中学校への不安が減少し、期待を高めることができたと考えます。

小学生が書いた、授業や諸活動の感想文等を読むと、そのことが実感として伝わってきます。とても嬉しく感じています。

中学生にとっても、交流を通して様々な「気づき」や「発見」があり、また、自己有用感を感じられる場面も多くあり、様々な収穫があったと考えます。



以前より学校だより等でお伝えしていますが、今後も「地域の子どもたちを、地域の学校で、責任をもって育てたい」という想いを大切にしていきます。

「豊玉第二小・豊玉東小、豊玉第二中で9年間学ぶことができてよかった」と、児童・生徒、保護者が実感できる学校づくりを是非進めていきたいと考えています。

これからもよろしくお願い申し上げます。



乗り入れ授業（数学）



部活動体験（サッカー部）

